

# 第一章 荒廢溪流

## 第一節 荒廢溪流の意義

河は水源より河口に至る自然の水路にして、之を大別すれば水溝、溪流、河川等になし得べきと雖も、其の區分點は判然たるものにあらず。従つて溪流の荒廢によりてなれる荒廢溪流の意義も亦明確に表示し難きと雖も、流路短く、勾配急にして其變化著しく、水量は融雪又は降雨の節に多量の流量を一時に流通すれども、常時は極めて少く下流部に於ては殆ど水流なき場合多く、土砂、石礫は水源の荒廢或は沿岸の崩壊のため、多量に流出して流路の所々に就中下流部に於て巨量に堆積するが如き性質を有する溪流を荒廢溪流と稱す。

荒廢溪流にして流路稍長く、勾配も比較的緩なりと雖も一般河川に比しては常水少く又著しく荒廢せるものを荒廢溪流狀河川と稱す。

## 第二節 荒廢溪流の類別

荒廢溪流は各種に分類され

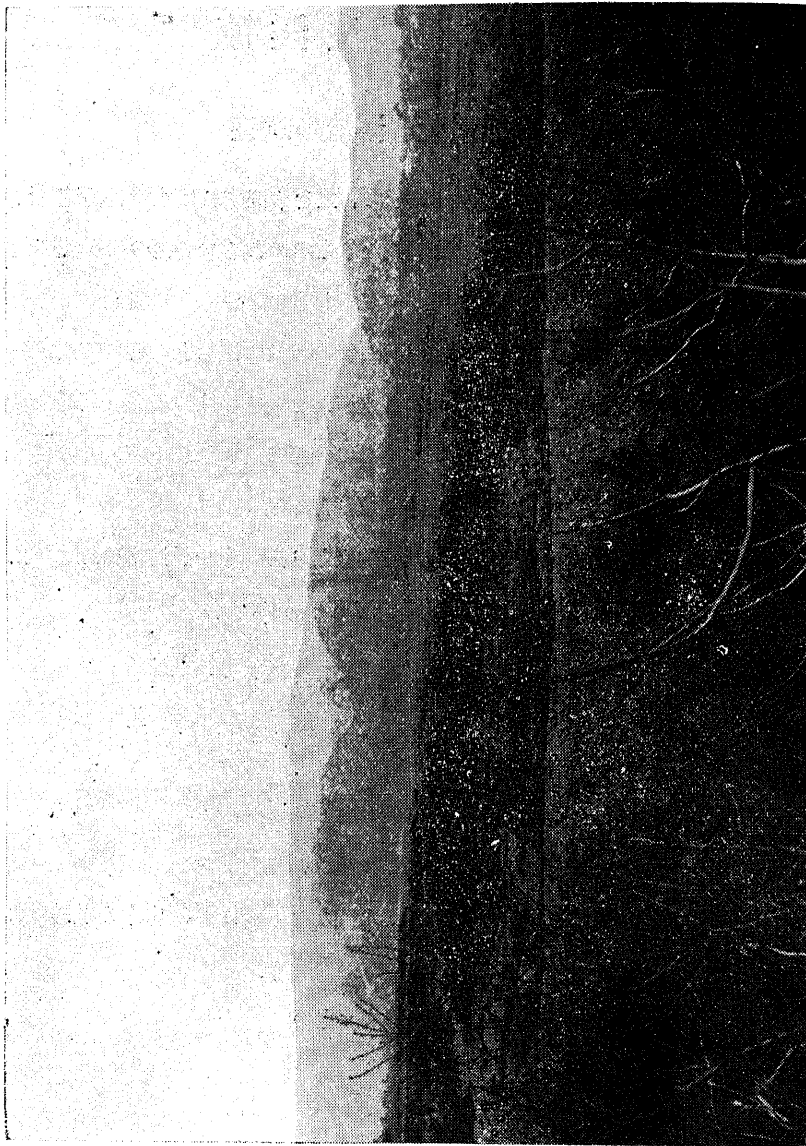
例ば Duile 氏は

1. 年中水流ありて水源は山上の湖水又氷河より起るもの
2. 氣候溫暖の時水流れ、寒冷になれば水流なきものにて、山中の融雪によるもの

3. 雷雨、降雪、長時降雨の時に水の流るゝもの

Surell 氏は

1. 山の鞍部より起りて谷に流るゝもの
2. 山の背部より起りて最大勾配の方向に流るゝもの
3. 山の中腹より起りて最大勾配の方向に流るゝもの



荒廢溪流狀河川(徳島縣阿波郡市場町吉野川支日開谷)



荒廢溪流(徳島縣美馬郡重清村吉野川支高嶺谷)

Schindler 氏は

1. 日頃多量の水を流すもの
  2. 強雨の時に水流を見る短小急峻の溪流
  3. 大なる石礫を有する深き水流
  4. 勾配稍緩にして所々谷幅を擴大し砂礫の存在するもの
- 等に別つ。

而し之等は各國の位置、地形、地質等に應じて其々適當に分類せるものなるが之等の分類方法が必ずしも我國の一般荒廢溪流に適合すべきものにあらざして、我國の溪流は荒廢の原因が一は上流水源地域の荒廢によるものと、他は沿岸の浸蝕、崩壊に基くものとの二大別になし得可きが故に

1. 風化溪流
  2. 浸蝕溪流
- の二つに類別し、

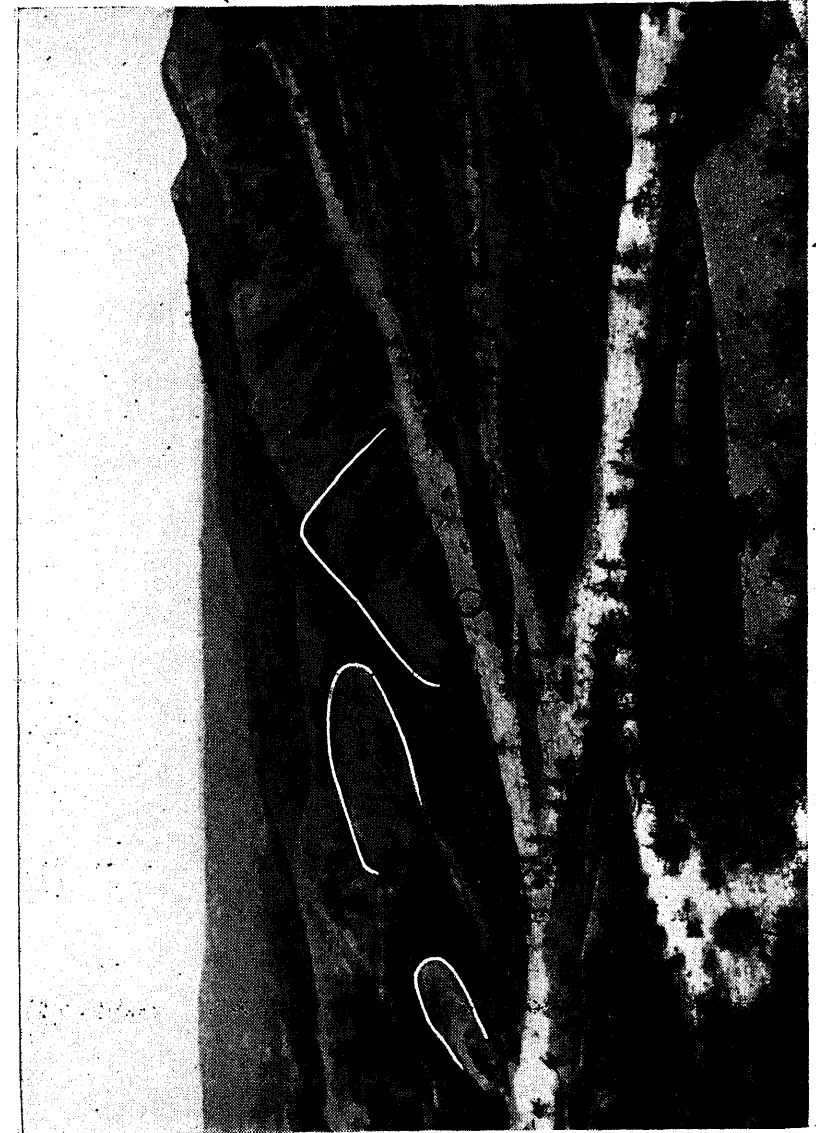
風化溪流は主として其の水源に廣大なる禿瘠荒廢地を有し、其の風化土砂の流出によりて荒廢せるものにて、浸蝕溪流は溪床並に山脚の浸蝕のため、土地の崩壊を惹起して荒廢せるものなれば水源に立派なる森林の存在するもの少からず。

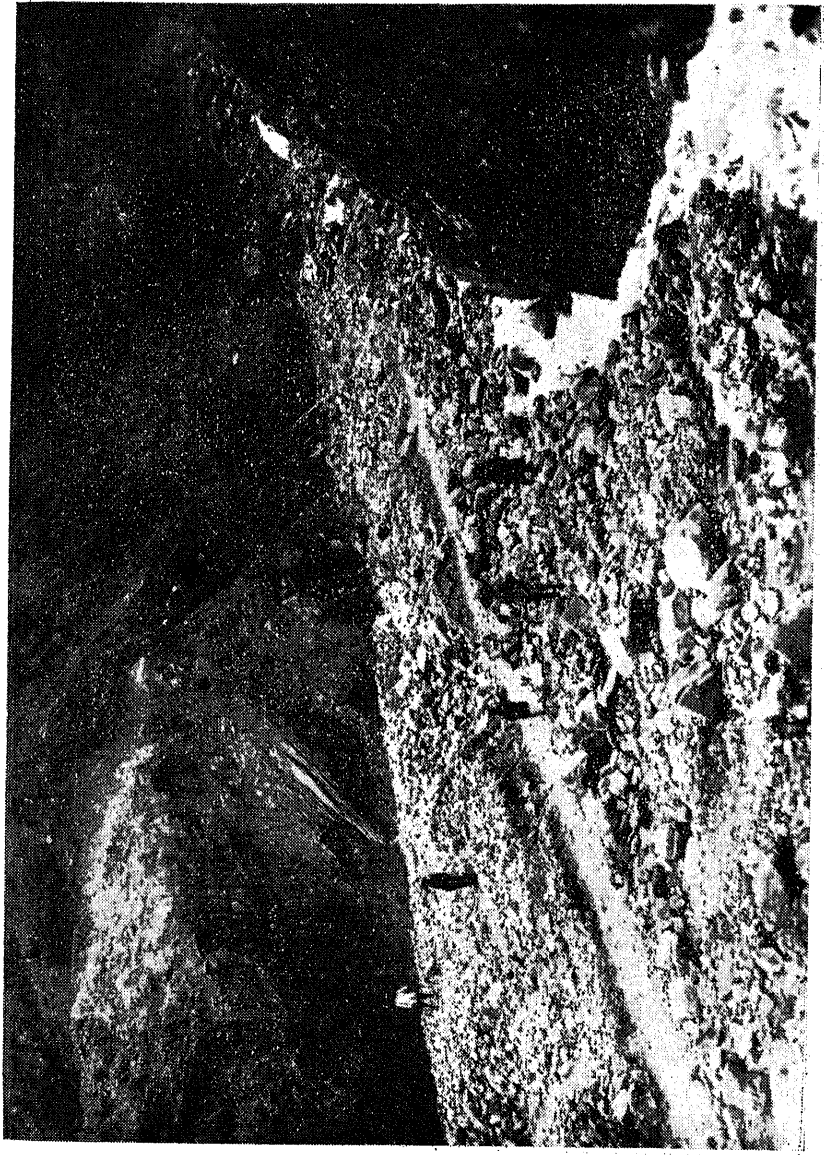
### 第三節 荒廢溪流々域の分類

一般河川に上流部、中流部、下流部の區分があるが如く荒廢溪流の流域を分ちて

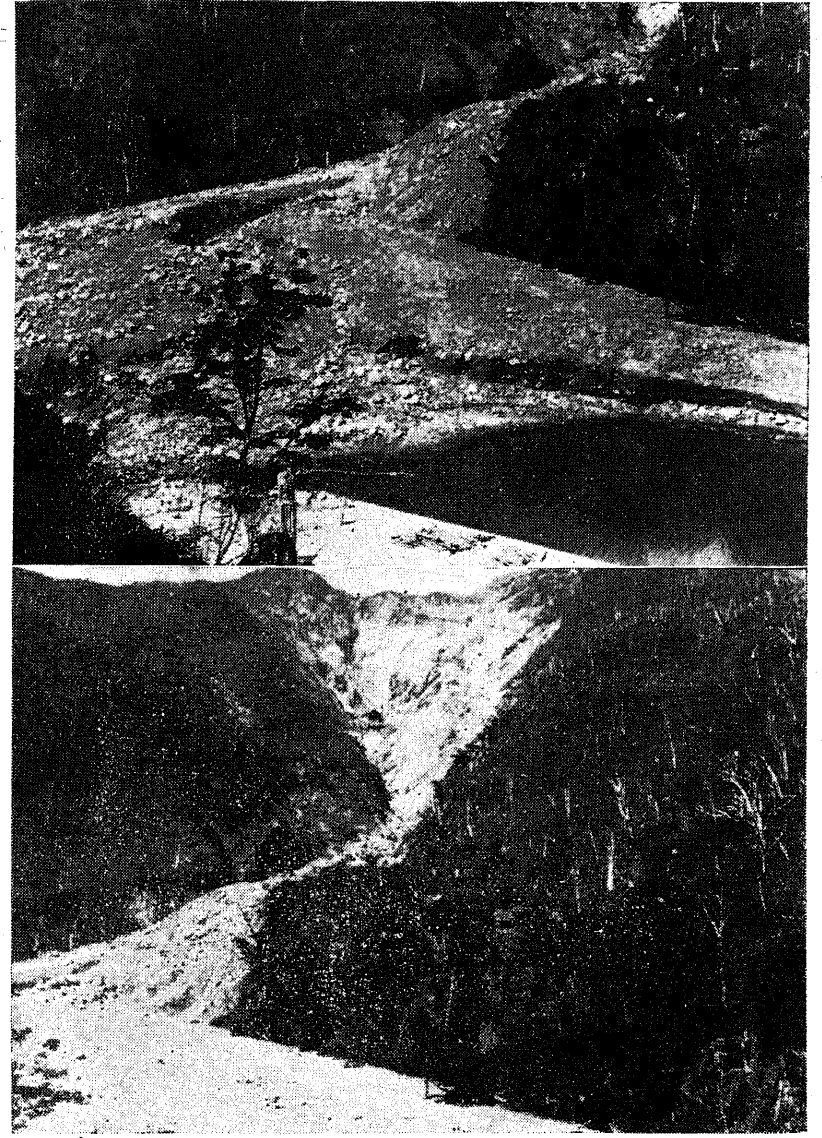
1. 集水地
  2. 流過地
  3. 砂礫堆積地
- の三つとす。

集水地は溪流の水源地帯にして、集水面積の大部分を占むるが故に此名あり、又流出土砂は多く此の流域より生産するが故に之を砂礫生産地域とも云ふ、





浸蝕溪流 (石川縣能美郡白峰村手取川上流甚之助谷)



集水地、流過地、砂礫堆積地

流過地は集水地に引續く區域にして、多くは狭小なる溪間を流れ、岩盤露出して浸蝕崩壊を見る事稀に、且つ流速大なるが故に集水地にて生ぜし土砂は此處に沈積することなく、單に土砂の流過するに過ぎざる區域なり。

砂礫堆積地は流過地に引續く下流部にして、流過地を流出せる土砂は此處に容易に堆積し、土砂堆積の形狀が圓錐形をなすこと屢々なれば砂礫圓錐地とも稱す。又荒廢溪流狀河川にては、山間けて山間の小平地に出でたる區域にて、兩岸の耕地並に村落の保護のために此處に築堤して所謂大井川をなすものあり。